

# 2023年7月期第3四半期 決算補足説明資料

---

2023年6月9日  
株式会社アースインフィニティ  
[7692]

# I. 決算ハイライト（2023年7月期 第3Q）

# II. サステナビリティへの取り組み

# I.決算ハイライト（2023年7月期 第3Q）

## ■ 2023年7月期 第3Q業績

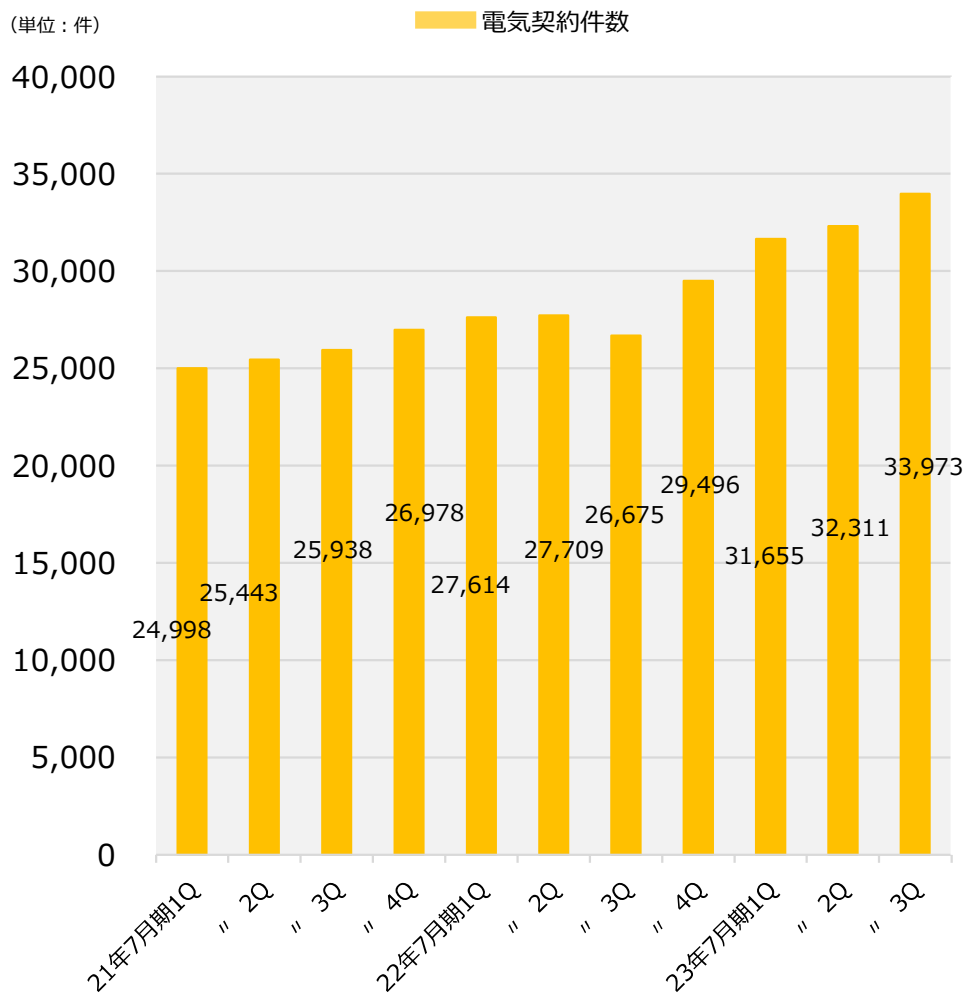
第3四半期 売上高	<b>過去最高</b>	売上高 42億13百万円	前年同期比 26.9%増	
第3四半期 経常利益	<b>過去最高</b>	経常利益 5億5百万円	前年同期比 —	

エネルギー事業	売上高	: 4,076百万円	前年同期比	: 28.4%増
	営業利益	: 787百万円	前年同期比	: —

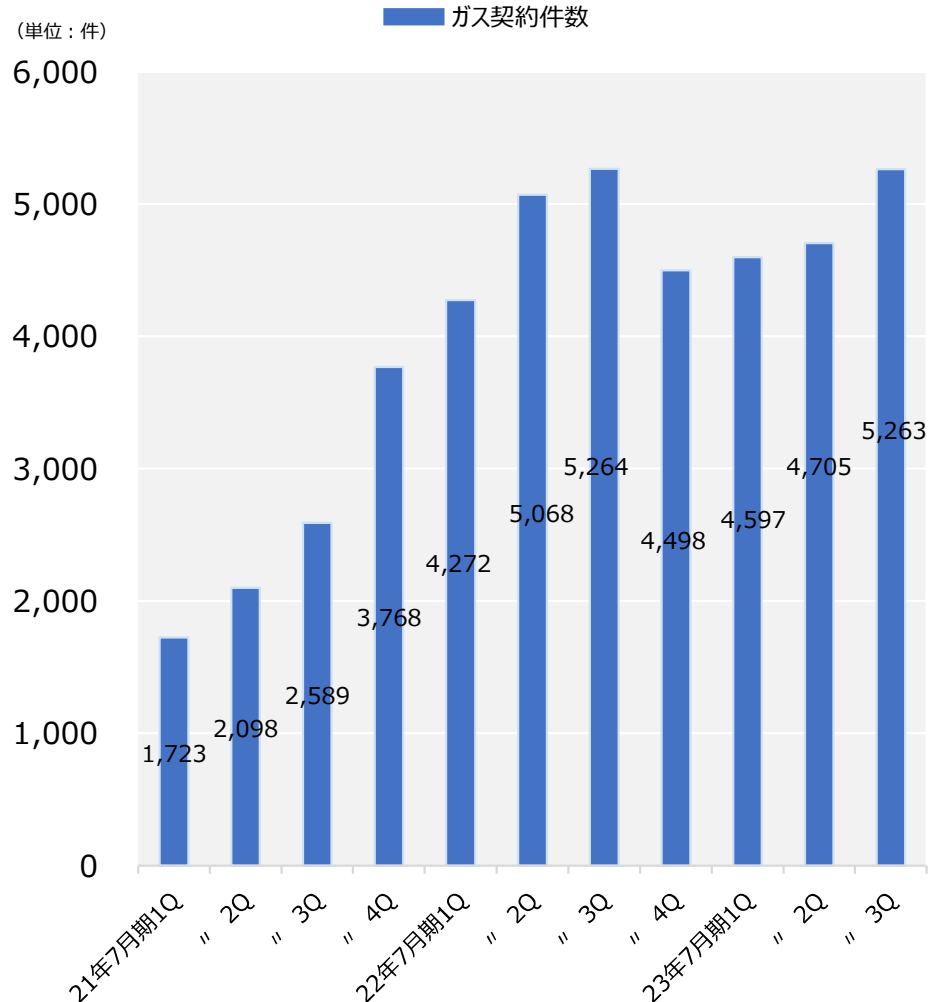
電子機器事業	売上高	: 137百万円	前年同期比	: 5.7%減
	営業利益	: 32百万円	前年同期比	: 49.2%減

# 23年7月期 第3Q電気契約件数 21期末より4,477件増 (約15.2%UP)

## ■ 電気契約件数

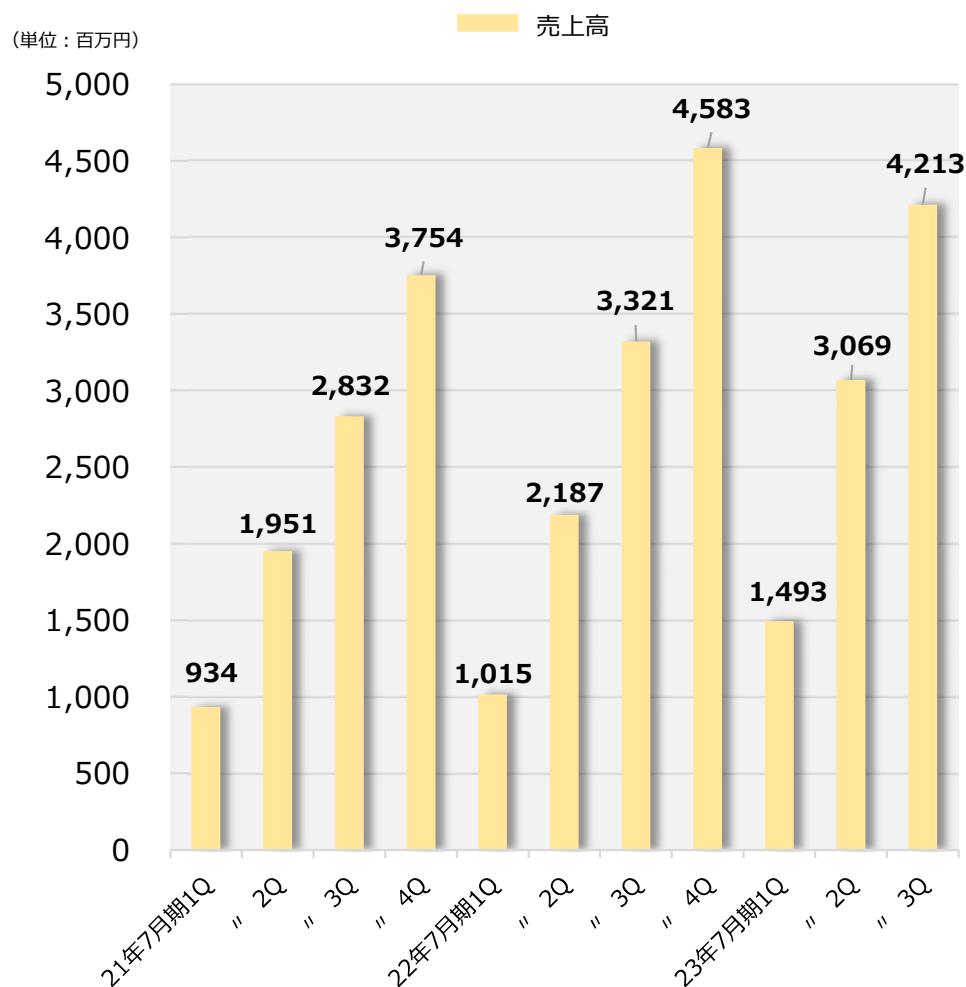


## ■ ガス契約件数

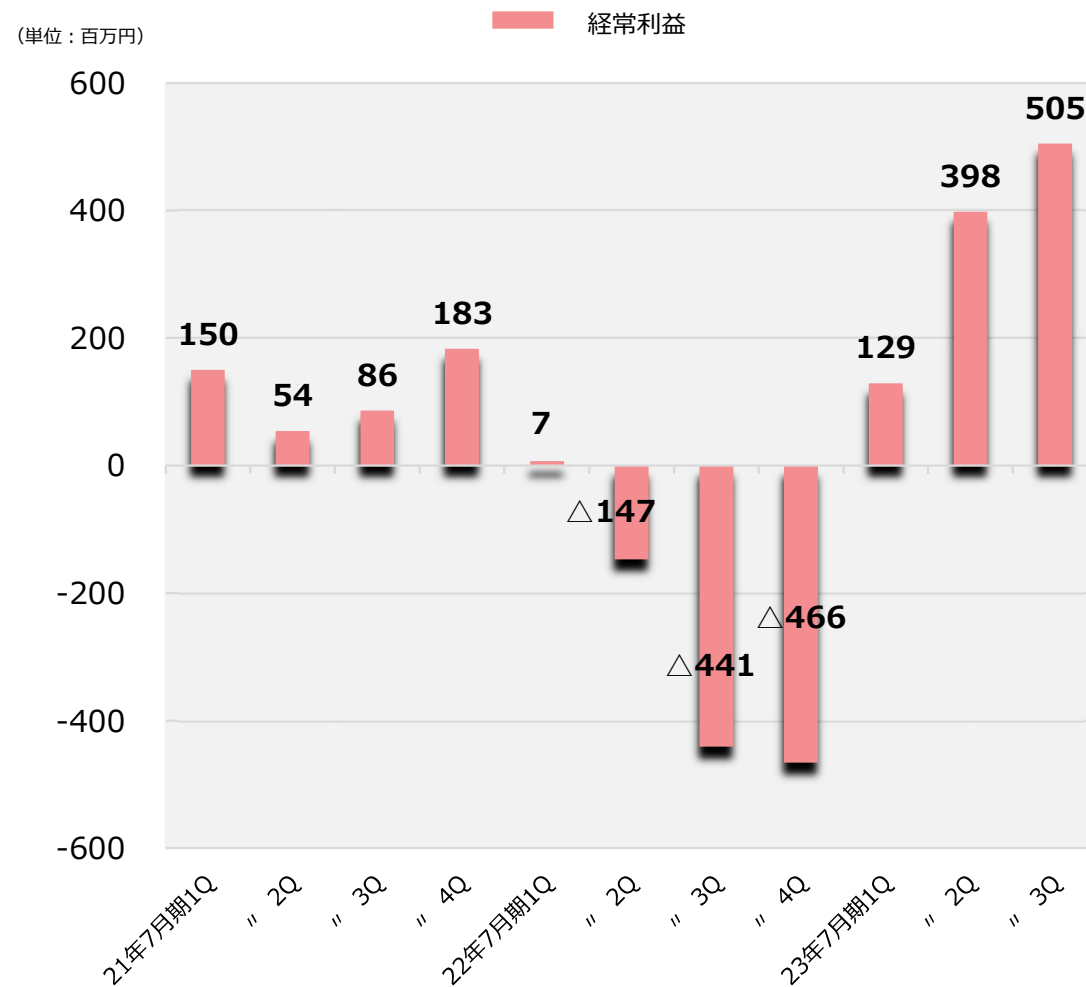


# 23年7月期 第3Q經常利益：505百万円

## ■ 売上高



## ■ 經常利益



# 2023年7月期 P/L（前年同期比）

## 売上高・経常利益ともに 第3Q過去最高記録を更新

リスクヘッジ（相対取引、市場連動型導入）の効果により利益が安定。燃料調整額、顧客数の増加も相まって前年同期の利益マイナスから**大幅なV字回復**を達成。

(単位：百万円)	2022/7期3Q (実績)		2023/7期3Q (実績)		前年同期比	
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減額	増減率
売上高	3,321	100.0%	4,213	100.0%	892	26.9%
売上総利益	94	2.9%	1,255	29.8%	1,160	1,222.5%
営業利益	▲399	▲12.0%	559	13.3%	—	—
経常利益	▲441	▲13.3%	505	12.0%	—	—
四半期純利益	▲363	▲11.0%	375	8.9%	—	—

# 2023年7月期 B/S

北海道の風力発電所を取得した為、負債額は微増したが、安定的に収益が確保できたことにより、純資産は増加している。

(単位：百万円)	2022/7期末 (2022/7/31)	2023/7期3Q (2023/4/30)	増減額	主な増減要因
	金額	金額		
流動資産	1,493	1,696	202	現金及び預金の増加による流動資産の増加
固定資産	734	942	208	風力発電所の購入による固定資産の増加
資産合計	2,228	2,639	410	
流動負債	1,207	1,070	△137	短期借入金の減少による流動負債の減少
固定負債	548	721	172	長期借入金の増加による固定負債の増加
負債合計	1,756	1,791	34	
純資産合計	472	847	375	利益剰余金の増加による純資産の増加
負債・純資産合計	2,228	2,639	410	



# 2023年7月期通期 P/L（今期計画）

## 3Q終了時点で営業利益の 通期計画進捗率109.3%を達成

リスクヘッジ（相対契約、市場連動型の導入）の効果や燃料調整額、顧客数の増加により3Q終了時点で、**営業利益109.3%、経常利益100.5%**の進捗率を達成。

(単位：百万円)	2023/7期3Q（実績）		2023/7期（計画）		進捗率
	金額	対売上比	金額	対売上比	
売上高	4,213	100.0%	5,527	100.0%	76.2%
売上総利益	1,255	29.8%	1,513	27.4%	83.0%
営業利益	559	13.3%	511	9.3%	109.3%
経常利益	505	12.0%	503	9.1%	100.5%
四半期純利益	375	8.9%	396	7.2%	94.7%

リスクヘッジ（相対契約、市場連動型の導入）の効果や、燃料費高騰による燃料調整額の増加及び顧客数の増加により売上・利益ともに堅調に推移しており、3Q終了時点で営業利益、経常利益共に通期業績予想を上回っております。

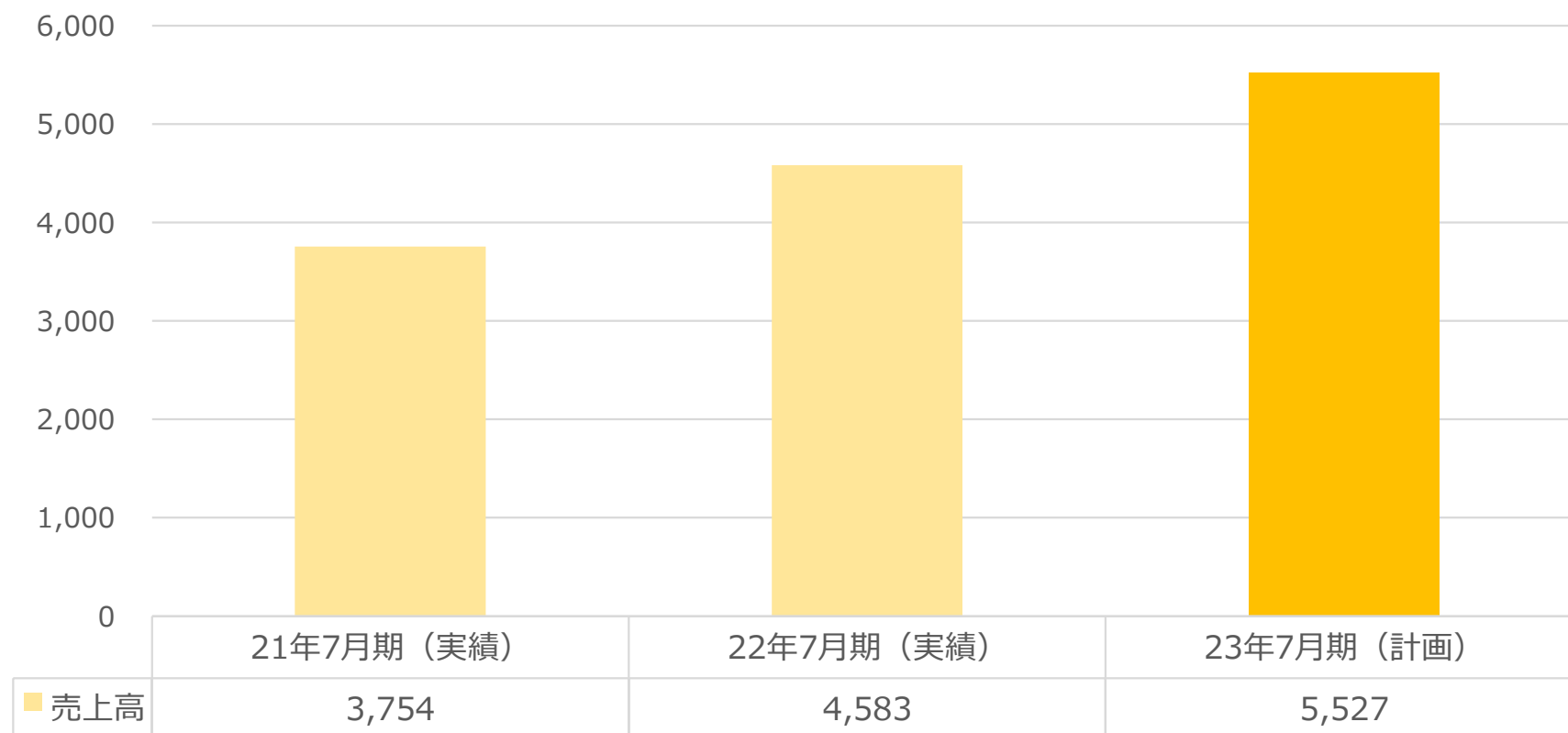
新規顧客の確保が進み利益が安定化していることを考慮すると、通期業績が通期計画を上回る可能性が高いと見込んでおりますが、翌期に向けた新規顧客獲得の強化及び今後の市場価格の動向が不確定であることから、2022年12月9日に公表しました業績予想を据え置いております。

## 2023年7月期 通期計画（売上高）

市場連動型の導入、燃料調整額や顧客数の増加により売上が堅調に推移しております。暖冬での電力量減少や市場価格の低下により売上高の伸びは緩やかになりつつありますが、2023年7月期は**過去最高の売上高**となる見込みです。

（単位：百万円）

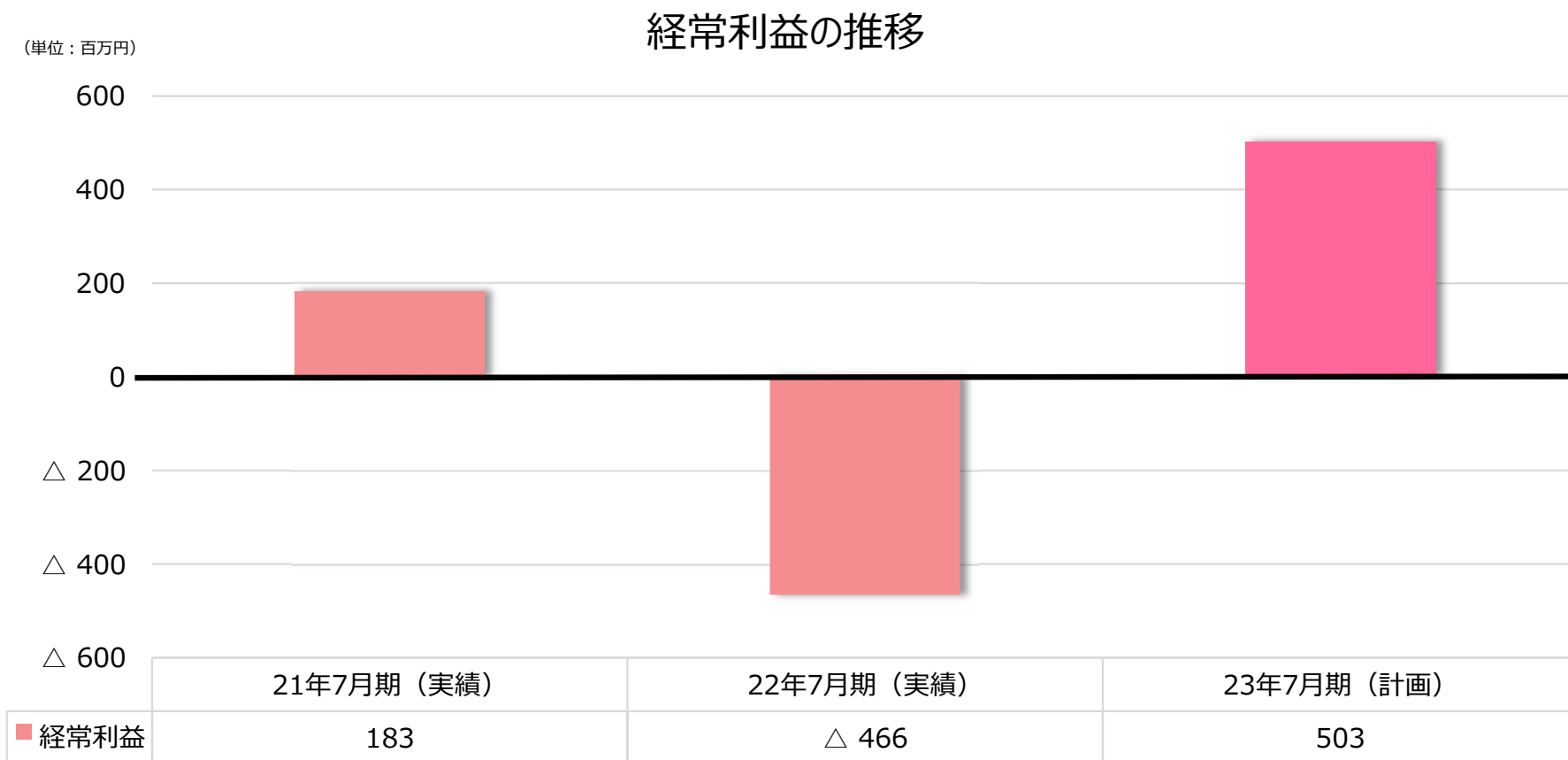
### 売上高の推移



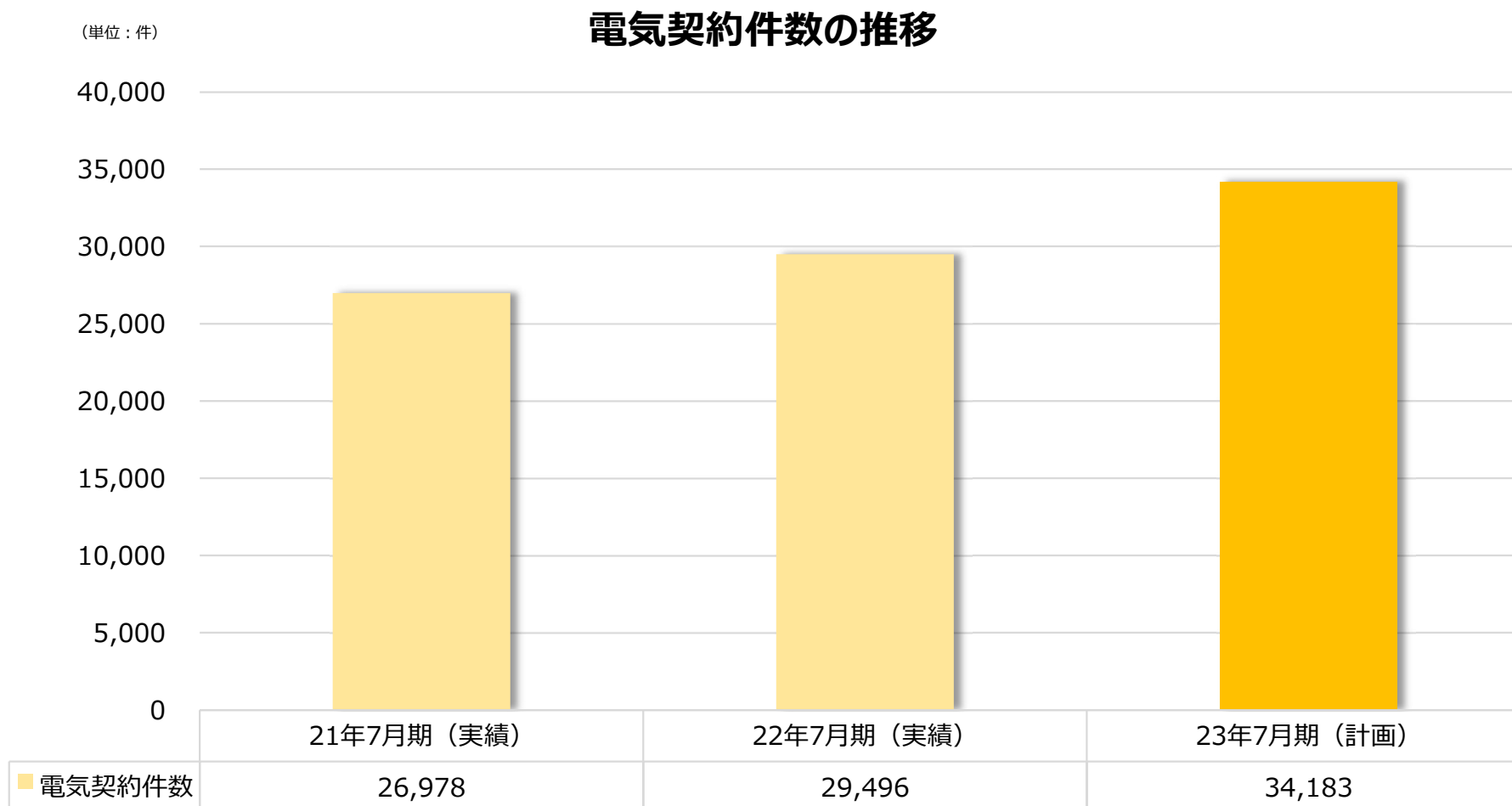
## 2023年7月期 通期計画（経常利益）

リスクヘッジ（相対契約、市場連動型の導入）の効果や、燃料費高騰による燃料調整額の増加及び顧客数の増加により3Q終了時点で**通期業績計画を上回り**ました。

新規顧客の確保が進み利益が安定化していることを考慮すると、**通期業績が通期計画を上回る可能性が高い**と見込んでおりますが、翌期に向けた新規顧客獲得の強化及び今後の市場価格の動向が不確定であることから、2022年12月9日に公表しました業績予想を据え置いております。

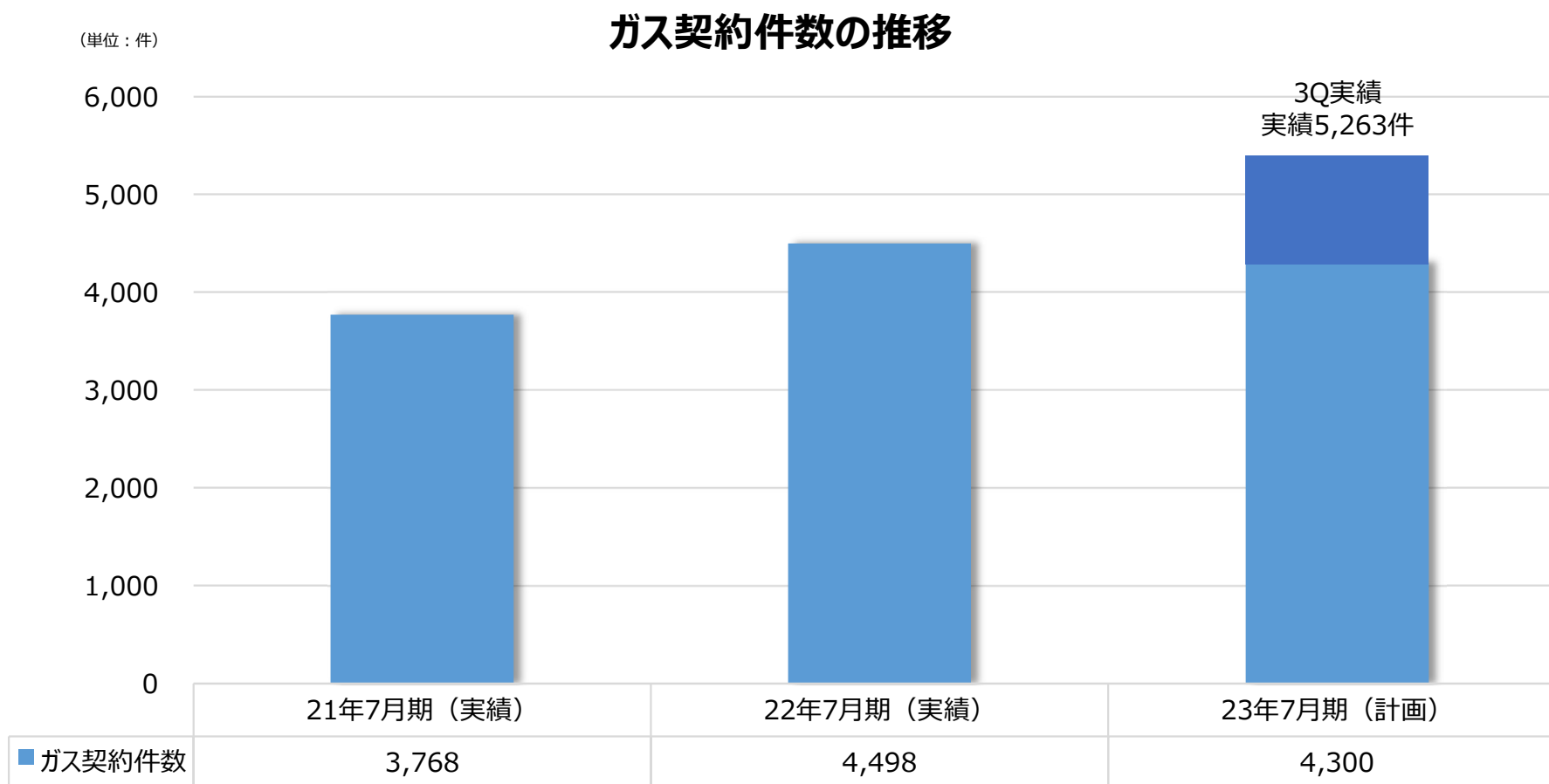


新規獲得の強化により、3Q終了時点で通期計画34,183件（前年比+4,687件）のうち、**33,973件（前期末比+4,477件）**まで**契約数が増加**しました。  
計画達成及び翌期に向け、更なる契約数の増加を目指します。



ガスは、販売エリアに制限（都市ガス限定）があるため、若干の契約数減少を見込んでおりましたが、販売エリアを東京ガス・大阪ガスエリアに加え**東邦ガスエリア**も**拡大**し、新規獲得を強化した結果、3Q終了時点で通期計画4,300件に対して、**5,263件（前期末比+963件）**まで契約数が増加しました。

翌期に向け、更なる契約数の増加を目指します。



## Ⅱ. サステナビリティへの取り組み

電気・ガス・水と環境領域において事業を展開し、人々の豊かな暮らしを支えるとともに、それを担う地球環境にも配慮し、環境保全活動を推進しております。

- 地球環境に優しい再生可能エネルギーの開発の一環として事業用風力発電所の建設を行うなど、事業活動を通じてその責任を果たしてまいります。
- 寝屋川クリーンセンター発電所にて、ごみ等の廃棄物発電による余剰電力を使用し、環境負荷の低い電力提供に取り組みます。
- 当社は男女問わず、誰しもが自分の能力を発揮できる会社作りを目指しております。
- 「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の認証を受けており、意欲のある女性が活躍し続けられる組織づくりに努めております。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 業務提携の背景

現在、注目を集め急成長しているリユース業界を牽引しているブックオフコーポレーション株式会社は、お客様に楽しく豊かな生活を提供しながら、無理なくごみの削減・モノが循環する社会の形成を目指し、リユース業を軸に様々な活動を行っております。当社は、これらの取り組みに共感し、業務提携を結びました。

## 目的

当社の顧客をブックオフコーポレーション株式会社へ紹介し、同社が大手百貨店で展開している「hugall」のサービスを利用させていただくことで、顧客満足度の向上およびサステナブルな社会づくりへの貢献を目指します。

※hugall とは ブランド品・腕時計・ジュエリー・貴金属・骨董品・美術品などの各ジャンルの専門員が査定した結果をもとに、担当のコンシェルジュが、買取やオークション出品、処分など、最適な提案をワンストップでおこなえるサービスです。







# 愛媛県西宇和郡ウィンドファーム

当社は、SDGsの取り組みを最重要課題のひとつとして位置付けており、地球環境に優しい再生可能エネルギーの開発の一環として、愛媛県西宇和郡伊方町に「愛媛県西宇和郡ウィンドファーム」を運営しております。

風力発電は、昼夜問わず稼働できるため、時間帯の影響をあまり受けません。

また、発電時に地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しないというメリットがあります。

名称	愛媛県西宇和郡 ウィンドファーム
場所	愛媛県西宇和郡伊方町
風車の概要	高さ 30m ロータ直径 15.6m
想定発電量	約644,000kWh/年間
売電価格	55円/kWh





# 北海道ウィンドファーム

さらなるSDGsの推進を目的に、新たに「北海道ウィンドファーム」として風力発電所6基を取得いたしました。

風力発電には、「エネルギー資源が枯渇しないこと」「温室効果ガスを排出しないこと」2つの特徴があります。アースインフィニティは、地球環境に優しい再生可能エネルギー電源の確保に積極的に取り組んでまいります。

名称	北海道ウィンドファーム
場所	北海道檜山郡、松前郡、 久遠郡、苫前郡
風車の概要	高さ 20m ロータ直径 15.6m
想定発電量	約415,000kWh/年間
売電価格	55円/kWh



## 将来の見通しに関する注意事項

本資料は当社の企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものでなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される当社の計画、見通し、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断または考えに過ぎず、実際の弊社の経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギーの政策、法令、制度、市場等の動向、弊社の事業に必要な許認可の状況、気候、自然環境等の変動等により、本資料の記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざんデータダウンロード等によって生じた障害などに関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社アースインフィニティ IR担当

Mail : [earth-ir@earth-infinity.co.jp](mailto:earth-ir@earth-infinity.co.jp)